

社会薬学フォーラム 2024

市販薬の乱用 10代のオーバードーズ急増～どうしたらオーバードーズを防げるのか～

薬物依存は、覚せい剤や大麻の違法薬物に関心が集まりがちであるが、最近では一般用医薬品の乱用による薬物依存患者が急増しており、覚せい剤等の違法薬物の依存患者数に続いて多くなってきた。特に、10代の市販薬乱用患者数は2016年から急増し、覚醒剤や大麻を上回り2022年には65%となっている。一方、一般用医薬品の活用をはじめとするセルフケア・セルフメディケーションの推進が図られていることから、医療用医薬品のスイッチ化の推進、ネット販売などの利便性に関心が高まっていることから、薬の適正な使用についても改めて喚起する必要がある。

今回、一般用医薬品のオーバードーズ問題、薬教育のリテラシー向上、一般用医薬品販売での取り組みについて理解するとともに、「どうしたらオーバードーズを防げるのか」を一緒に考える機会とする。

開催案内

開催日時：4月28日 10:00～12:30

開催方法：Web開催

参加方法：Peatixの申し込み <https://shayaku-forum2024.peatix.com>

締切：2024年4月20日(土)

参加費：1,000円（会員/非会員問わず）

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度：1単位（予定）

プログラム

総合司会 串田一樹

10:00～11:00 1 基調講演

『「助けて」が言えない子どもたち-市販薬の乱用・依存を例として-』

嶋根卓也（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）

11:00～11:05 休憩

11:05～11:20 2 病院から

『過量服薬患者の入院背景調査からみえてきたこと』

高橋和代（平川病院 薬剤部）

11:20～11:35 3 学校薬剤師から

『医薬品の過量服用問題に学校薬剤師がどう関わるのか』

山口一丸（かずまる薬局、愛知県学校薬剤師会副会長、日本くすり教育研究所理事）

11:35～11:50 4 一般用医薬品販売から

『一般用医薬品販売の対応～新宿区の調剤併設型ドラッグストアの立場から～』

寺田大輝（龍生堂）

11:50～12:20 総合討論